

「肺癌化学療法における B 型肝炎再活性化に関する検討」

についてのご説明

1.はじめに

現在、私たちは、肺癌化学療法における B 型肝炎再活性化に関する検討のための臨床研究について取り組んでいます。

本研究は「自主臨床研究」と呼ばれるもので、実際の診療に携わる医師が、医学的必要性・重要性を検討し立案・計画して行うものです。本研究はすでに行われた治療や検査結果を過去の病歴をもとに振り返って検討するのであり、患者さまに対して治療の介入を行うものではありません。(後方視的研究といえます。)

2. 肺癌化学療法における B 型肝炎再活性化について

B 型肝炎は B 型肝炎ウイルス(HBV)が血液・体液を介して感染して起きる肝臓の病気です。HBV の持続感染患者(HBV キャリア)さんや HBV が治癒した状態(HBV 既感染)の患者さんのなかに、免疫を抑制する治療や悪性腫瘍に対する化学療法により HBV が活性化して劇症肝炎になってしまうことがあると判明しました。そのため現在、日本肝臓学会からガイドラインが発行され、肺癌の化学療法を行う患者さまにおいても全例にスクリーニング検査をさせていただいています。

3. 目的

今回の研究では、肺癌患者さんに化学療法を行うとどれぐらいの頻度で B 型肝炎の再活性化がみられるのか、また治療への影響はあるのかを解析することが目的です。

4. 方法

対象：2013 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日までに肺癌に対して当院にて化学療法を施行された患者さま

検査方法：病歴(カルテ)、これまでの検査結果を確認するだけで、新たに検査は行いません。

本研究では個人情報を特定されるような内容を含めないように配慮を行い、学会発表や論文などのデータの公表にあたって個人情報が公開されることはありません。

5. 費用負担：ありません。

6. 登録の除外の希望

この内容をお読みいただいた本症の患者さまで本研究への登録を取りやめてほしい
とご希望の方は下記までご連絡ください。その場合も、今後の治療上の不利益を被るよ
うなことはありませんのでご安心ください。

奈良県立医科大学附属病院 呼吸器・アレルギー・血液内科

児山 紀子

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL : 0744-22-3051 内線 2312

FAX : 0744-29-0907

norikoya@narmed-u.ac.jp
